

か ～豊玉姫神社の水車からくり～ らくりの西郷どんが跳ねる

7月9日、10日に知覧町の豊玉姫神社六月灯にて、薩摩の水車からくりが上演されました。今年の演目は「西郷どん」。大河ドラマのポスターのように、大きく口を開けながら元気よく飛び上がる西郷隆盛を模した人形や、忠実に再現された鶴丸城御楼門、示現流の稽古をする薩摩武士など、約30～50センチの人形たちが水車の動力で舞台のあちこちを動き回り、観覧者を楽しませていました。



▲大きく飛び上がる西郷どんのからくり人形。後ろに見える門は現在修復中の鶴丸讓御楼門の設計図を基に制作されています。

小 ～ヒラメ稚魚放流～ 学生が水産体験学習

7月10日、額娃町石垣港においてヒラメの稚魚放流と水産体験学習が開催され、市内7つの小学校の児童117人が参加しました。鹿児島水産高等学校の生徒たちが先生となり、ヒラメの稚魚放流のほか、ダイビング機材を装着したり、鹿児島の水産業について学ぶといった水産体験学習も行われました。児童たちは生きたヒトデやナマコ、貝に触れるなど、貴重な体験ができたようです。



▲「大きくなってね」と海に向かってヒラメの稚魚を放流する児童たちと、それを見守る水産高校の生徒たち。

人 ～法務大臣から「人権擁護委員」を委嘱～ 権擁護委員委嘱式

7月12日、南九州市の人権擁護委員として宮内健義さんと田中清実さんに再任、新原誠さんに新任の委嘱式が行われました。委嘱を受けた田中さんは「人口比率の高い女性や高齢者が、今後もっと活躍できる社会となるよう手助けをしていきたい」と抱負を述べました。市では現在9人が人権擁護委員として委嘱され、人権相談や問題解決の手助けのほか、人権侵害被害者を救済、人権啓発活動を行っています。



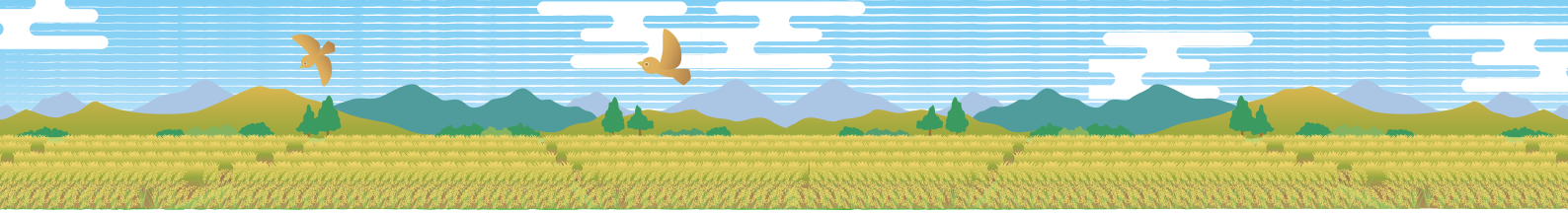
▲人権擁護委員として再任された宮内健義さん（左）と田中清実さん（右）。

災 ～障害者などを福祉施設が受け入れ～ 害時の福祉避難所さらに充実

7月19日、災害発生時における在宅の障害者などの避難所として、福祉施設の一部を開設する協定調印式が行われ、市は更生会、顕真福祉会、あすなろ福祉会、敬和会の社会福祉法人と協定を取り交わしました。各法人から、「災害時の地域住民の安心安全のために貢献させていただきたい」とあいさつがあり、塗木市長は「障害などの特性に配慮した福祉避難所の設置で防災対策が一層充実する」と話しました。



▲今回協定を結んだ法人の方々と市長。（左から顕真福祉会、更生会、市長、あすなろ福祉会、敬和会）



雨

～第23回知覧ねぶた祭～

夜に響く、ヤーヤドー！の声

7月21日、知覧まち商店街にて知覧ねぶた祭が開催されました。不安定な天候の中ではありますが、午後7時頃になると「ヤーヤドー！」の掛け声と共にねぶたが動きだし、会場は大きな歓声に包まれました。今年の先頭は西郷どんねぶたが務め、光を放ちながら堂々と通りを練り歩いていました。最終的に雨が強く降り出しましたが、それに負けないくらいの熱気と歓声が会場に溢れていました。



▲台風の影響で不安定な天候でしたが、光輝くねぶたに皆熱心に見入っていました。

お

～川辺祇園祭・花火大会～

祭りパワーで雨寄せ付けず

7月29日、伝統の川辺祇園祭が開催されました。金峰権現太鼓を先頭に御神爾御巡幸が御発幸。各団体によるパレード・山車・みこし連・おどり連が祭りを盛り上げ、壱番神輿・弐番神輿による稚児あげでは、神輿の上に幼児を揚げて無病息災を祈願しました。花火大会では、雨を考慮し開始時刻を予定より30分早めての開催。ミュージック花火やメッセージ花火2千発が夜空を彩り、8千人を魅了しました。



▲水をかけられながらも、威勢よく神輿を担ぐ子どもたち。

美

～第26回松ヶ浦地区海岸クリーン作戦～

美しい松ヶ浦の海岸を守る

7月22日、松ヶ浦地区海岸クリーン作戦が松ヶ浦地区海岸一帯で開催されました。この取り組みは、海岸の美化・浄化活動を行うことにより、クリーンかつ平穏で安全な地域づくりを推進することを目的に毎年行われているものです。26回目となる今回は、松ヶ浦地区民をはじめとする19団体が参加し、打ち上げられた漂流物の回収などを行い、ウミガメが上陸、産卵する海岸をきれいにしました。



▲ボランティアで海岸清掃を行う参加者。美しい海岸を後世に残していくため、皆さんのご協力をお願いします。

南

～南九州市青少年国内派遣事業受入れ～

九州市と平川市の中高生が交流

7月21日から24日の4日間、青森県平川市の中高生7人が南九州市を訪れました。南九州市青少年国内派遣事業実行委員会では毎年、平川市と青少年交流を行っています。本市の中高生家庭によるホームステイのほか、全体活動として茶摘み体験、カヌー体験を行う中で、子どもたちは異なる生活習慣や文化を理解し合い、交流や絆を深めていました。12月には、本市の子どもたちが平川市を訪問し、交流を行う予定です。



▲松ヶ浦の四角場浜で行われたカヌー体験では、両市の子どもたちが夢中になって夏の海を満喫していました。